



滋 臨 技

第250号

だより

発行所 社団法人 滋賀県臨床検査技師会
事務局 滋賀医科大学医学部附属病院 検査部 大津市瀬田月輪町
発行責任者 吉田 孝 滋賀臨技ホームページURL <http://www.samt.jp/>



『飛 翔』

◇目 次◇

平成23年度新人研修会を終えて	2
東日本大震災・被災地医療支援に参加して	4
第61回日本医学検査学会企画のご案内	6
訃 報	8
平成23年6月定例理事会 議事録	10
平成23年7月定例理事会 議事録	11

平成23年度新人研修会を終えて

組織部理事

株式会社メディック 山村 満

例年開催されております新入会員研修会は、今年度で22回目を数え平成23年7月30日(土)草津市立サンサンホールにて、新入会員(14名)の皆さんに参加頂き開催致しました。

新入会員研修会の目的は、『技師会への理解を深め、会員及び役員相互の交流を通じて、情報交換を図り今後の技師会活動への積極的な参加を得る。』ということが目的です。

今年度も会長挨拶、自己紹介、組織部にて定款、組織概要、精度管理、生涯教育等時間的制約がありながらも各事業内容を説明させて頂き、今年度は、新たに人権研修としてDVD鑑賞を取り入れさせて頂き、有意義な研修会が開催できたのではないかと思います。その後、懇親会にて親睦を図らせて頂きました。新入会員の方も研修会では真剣に聴講され、懇親会では大いに飲まれ和やかに理事の方々と交流を深められていました。

今回参加された皆さんの感想には前向きな言葉(研修会に参加された皆さんからの一言)が多くあり研修会が意義あるものであったと思います。又、組織部では今回の感想を参考に次年度に生かし、更なる内容の充実を図りたいと思います。新入会員の方には研修会で感じた気持ちを忘れず日々の業務に励んで頂き、大きく飛躍されることに期待いたします。

最後に研修会開催に当たりご協力頂きました会長はじめ理事、監事の方々、参加頂きました新入会員の皆様にお礼を申し上げます。



新人研修会に参加された皆さんから一言！



甲南病院

西山陽子さん

毎日の業務に満足せず学会・研修会に積極的に参加・発表し、学術に精進したいです。



長浜赤十字病院

泉原由美子さん

技師1年目でわからないことだらけですが、積極的に頑張りたいと思います。



草津総合病院

中島辰也さん

1つの分野にとらわれず、多くの分野の知識をつけていきたいと思っています。



長浜赤十字病院

西野広将さん

他施設の方々とも交流をさせてもらい、楽しく色々なことを学び成長していきたいです。



滋賀医科大学医学部付属病院

岩永郁南子さん

趣味がフラダンスで県内でもイベントを開催していますので、興味のある方は是非見いらして下さい。



大津赤十字病院

渡辺 祝さん

豊富な知識を持った技師になりたいと思っています。
さまざまな勉強会・研修会に参加していきたいと思っています。
よろしくお祈りします。



滋賀医科大学医学部付属病院

中西良太さん

早く一人前になれるよう努力を惜しまず頑張りたいと思います。



大津赤十字病院

遠藤昭大さん

初心を忘れず何事にも興味を持ち、日々の仕事に取り組んでいきたいと思っています。



県立成人病センター

黒木絵莉さん

検体の向こうにある患者さんの存在を忘れず、できることをひとつずつ増やしていきたいです。



滋賀保険研究センター

鶴田聡美さん

いろいろな検査を覚えて立派な臨床検査技師になりたいです。



県立成人病センター

山田幸子さん

検査値に詳しい検査技師になってチーム医療の架け橋になれるよう頑張りたいと思います。



メディック

野瀬広琴さん

検査センターで多くの検査を経験し、今後もっと専門的な知識を身につけていきたいと思っています。



長浜赤十字病院

佐久間彩加さん

さまざまな知識・技術を身につけられるよう努力します。



近江八幡総合医療センター

中村美香さん

いろいろなことに挑戦して臨床検査技師として成長できるように頑張りますので、よろしくお祈りします。

東日本大震災・被災地医療支援に参加して

彦根市立病院臨床検査科

DMAT 隊員 田 邊 正 喜

はじめに、3月11日に発生した東日本大震災において被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

今回の震災に対して、当院から3度にわたって医療支援チームを派遣しました。4月4日からの医療救護班派遣のメンバーとして、実際に現地で医療活動に携わることになりました。派遣先は福島県会津若松市で、主に、湾岸部の原発付近から避難されてきた方々の避難所を巡回診療しました。

会津若松市は、福島県西部に位置し原発からは離れており（約70～80km）、発災後約1ヶ月でありましたが、ライフラインはすべて正常でガソリンスタンドも給油制限や渋滞もなく、周辺の病院や診療所は正常に機能しており、生鮮食品や水・一部の商品が品薄であった他は、生活に困ることはありませんでした。

避難所における医療活動の内容は、体温・血圧・問診⇒医師診察⇒薬の処方または病院紹介という流れで、1日に避難所を約3ヶ所、平均20～30人の診察を行いました。

診察希望者は、不眠や不安神経症といったストレス性の症状を訴える方や、高血圧・糖尿病といった持病の薬の継続処方を希望される方、急性腸炎などが多数を占めました。当初心配していた、インフルエンザやノロウイルスなど感染症のアウトブレイクはありませんでした。

実際に現地の方々といろいろと話して感じたことは、皆さん、つとめて明るく元気にされている、ということです。はじめは皆さん落ち込んでおられるかなと思っていましたので、この点は意外でした。しかし、当院のチームは、心のケア専門の看護師を帯同しており、医療班とは別にカウンセリングをすると、やはり、様々な不安・苛立ち等があるということもわかりました。また、避難所の入り口には、いまだに行方不明の家族の写真なども貼られていたりして、震災の爪あとを感じました。

私個人の役割は、調整員として帯同していたので、準備段階では、現地の様々な情報収集、持参する薬品や個人装備、食料の手配などをしました。現地では、本部にいる県の調整員と情報交換、活動記録やカメラ撮影、院外処方をFAXの手配、そして検査技師ということもあり、血圧測定、血糖測定の指導、インフルエンザの検査等を担当しました。

今回の医療支援活動では、職種・県・病院といった枠を超えた、まさにチーム医療というものでありました。この経験を今後の日常業務やDMATの活動等にかかしていきたいと思えます。

〈活動写真など〉





Nsによるカウンセリング風景



体育館でのDr 診察風景

〈表 1・当院の医療支援〉

	期 間		派遣場所	活 動
1回目	3月12日～3月14日	DMAT隊員	岩 手	初期救命医療活動
2回目	4月4日～4月8日	救護班	福 島	避難所巡回診療
3回目	5月16日～5月20日	救護班	福 島	避難所巡回診療

〈表 2・診療記録〉

	活動場所	診察人数	備考・特記事項
4月5日	県立学鳳高校	6名	ノロ(疑い)1名 インフル(疑い)1名
	会津自然の家	12名	
	農村環境改善センター	2名	
	川西公民館	10名	
合計	4ヶ所	30名	
4月6日	県立学鳳高校	2名	他院紹介1名(脱水・腸炎)
	会津自然の家	5名	
	農村環境改善センター	1名	
	川西公民館	9名	
合計	4ヶ所	17名	
4月7日	県立葵高校	2名	他院紹介1名(腸炎)
	会津自然の家	6名	
	農村環境改善センター	1名	
	川西公民館	25名	
合計	4ヶ所	34名	

第61回 日本医学検査学会企画のご案内

メインテーマ **三重からの熱きメッセージ！**
～命の重み・重なる技術・重ねる想い～

サブテーマ **～匠の技伝承と社会貢献をめざして**

開催日 2012年6月9日(土)・10日(日)
(8日金曜日 午後：スキルアップ講座)

場 所 三重県総合文化センター メッセウイング・みえ
担 当 (株)三重県臨床検査技師会

魅力ある企画満載！

特 徴



特別フォーラム開催 職能団体としての地域支援と社会貢献
～全国7支部代表者が熱き想いを語ります～



次の世代へ！ 若手技師の教育・育成プログラム
～30歳以下限定の若手部門発表会(表彰あり)、若手技師のスキルアップ講座～



アナライザーシステムの採用で参加型の症例検討会の開催
～尿沈渣、血液像、微生物、心電図、超音波像(各臓器)の臨床症例～
～所見はいかに！あなたと同じ意見は何人？ さあ、ボタンを押して参加しよう！～



体感！実感！共感！ 生理検査部門の企画満載！
～血管を診る。臨床に役立つ超音波像。超音波・神経ライブの開催！～



ナイト&モーニングセミナーの開催
～三重は案外田舎！やること無いなら勉強でも(笑)～～早起きは三文の得～



他職種からの熱きメッセージ！
～チーム医療の現場で臨床検査技師に求められることは～



開かれた学会へ“検査・健康展”の同時開催！
～一般市民のための無料検査コーナーの設置 健診バスも来ます～



機器展示にプラスα 協賛メーカーの学術演題発表
～最新の知見や技術のオンパレード～ ～超音波・神経ライブ講演～

最新情報は学会ホームページで

<http://www.61jamt.jp/>

～特別講演～



テーマ：オーダーメイド医療と臨床検査、そして検査室
三重大学大学院医学研究科長医学部長 登勉 教授

～オーダーメイド医療の現状と展望について～ 今後臨床検査がどのように変化していくのか、そして検査室はどう対応すべきかについて講演して頂く

～市民公開講座～



テーマ：神宮と遷宮について
講師：伊勢神宮職員

～20年に一度の式年遷宮を控えた伊勢神宮。厳粛な気持ちで神宮ならびに遷宮について学修していただければ幸いです～



テーマ：食を通じて人を育てる
講師：三重県立相可高校食物調理科 村林新吾 先生

～TVドラマ「高校生レストラン」(日テレ)のモデルとなった日本で唯一の高校生レストラン「まごの店」を手掛け、「情熱大陸」(TBS)でも、『教育は真剣勝負』と情熱的な教育の真髄が紹介されました。魅力的な教育とは何か?厳しさと優しさの両立した真剣勝負の教育を是非とも学んで頂きたい～ 新吾先生のお言葉(料理は心)

特別企画



行列ができるスキルアップ研修会 PartⅢ

認定技師(士)の役割

～認定資格更新のための講習会の開催～

認定一般検査技師 認定心電検査技師 NST

糖尿病療養指導士 血管診療技師 認定微生物検査技師など

(学会前日 事前登録制)

実技指導

～全国トップクラスの「匠の技を伝承！」～

輸血 神経生理(認定更新)

超音波



憩いの場(お茶会)
物産展
相可高校調理クラブの店



懇親会で
松阪牛提供
ミニライブあり

なんと! 伊勢神宮 参拝ツアー (人数限定企画)

もちろん他にも (    ) 魅力的です!

訃 報

今年に入り滋賀県臨床検査技師会にご尽力いただいた2名の先生が残念ながらご逝去されました。ここに関わりの深かったOB会の先生方からのお言葉を掲載させていただきます。

弔 辞



謹んで瀬田先生のご逝去をいたみ、社団法人 滋賀県臨床検査技師会の会員の皆様を代表いたしまして、御霊の前にお別れの言葉を申し上げます。

先生が健康を害されましたのは、一昨年(2010年)の師走のことでありましたが、先生の日頃の体力と気力、そして十分なる養生で、必ずや、早くに再起されるものと信じておりました。しかし、生者必滅、会者常離とは言え、先生のあまりにも早いご逝去は、私達にとりまして、大きな心の打撃であり、限りない悲しみであります。

振り返って見ますと、先生は昭和46年に長浜赤十字病院に奉職され、臨床検査技師として、そして技師長として、検査部の充実と発展に大きく寄与される一方、職場の皆様の温かいご理解とご支援、そして先生ご自身のご努力によりまして、昭和61年4月より平成22年5月までの24年もの永きに亘って社団法人滋賀県臨床検査技師会の役員をお務めいただきました。

その間、理事を10年、副会長を10年、会長を4年、そして、近畿臨床検査技師会の会長を2年間お務めいただきました。

平成3年、平成10年、平成17年に開催されました近畿医学検査学会の企画・運営にご尽力され、持ち前の強い責任感と泰然自若とした強いリーダーシップを発揮されまして、近畿各府県からの多くの会員の参加を得て、成功裏にお導きになられ、県内外から高い評価をいただきました。

また、会の根幹を成す事業としての臨床検査精度管理事業を始め、生涯教育研修事業、保健医療従事者研修会、各種チーム医療等を推進するべく強いリーダーシップを発揮され、現在の礎をお築きになりました。

このように、多くのご功績によりまして、平成20年に開催されました社団法人日本臨床衛生検査技師会創立55周年、法人化40周年の記念式典で厚生労働大臣表彰をご受章されました。

昨年5月のことですが、発病され、治療中にも拘わらず、第59回日本医学検査学会では講演会の座長を立派にお務めになられました。

私自身、お身体の具合を心配し、どなたかに代理で務めていただくことができないかと心配いたしておりまして、学会の前にお家にお邪魔いたしました。その時、先生は机に向かって、今回のシンポジウムでご講演いただく講師の先生の著書をお読みになっておられました。「座長を務めるに当たっては、ご講演される先生のお考えを理解しておかないと」とお話されておりまして、私は、「無理をしないでね」と言うだけでした。

このように、ご自分の身体を顧みず、近畿臨床検査技師会の会長としての強い責任感と学問に対する真摯な態度に、深い感銘を受けました。

お仕事を離れては、自然をこよなく愛され、時間があれば登山、ハイキング、釣り、旅行と幅広く楽しまれておりました。私も何度かご一緒させていただきましたが、日頃鍛えられた健脚で、難なく山を登り、数百段もの石段をものともせず、すごい速さで登って行かれるお姿を拝見し、驚かされました。

また、浄瑠璃の三味線をお弾きになるという古典的な文化にも精通され、平成17年に愛知県で開催されました国際博覧会では、滋賀県の催しの中で、袴を着て三味線を演奏されておられるお姿をテレビで拝見いたしました。

すぐ、お家へお電話を差し上げましたところ、演奏の曲名や聞きどころ、聞かせどころなどを詳しく教えて下さいまして、その深い知識に感心いたしました。

今、目を瞑りますと、幅広いご趣味をお持ちの元気な先生のお姿が走馬灯のように浮かんで参ります。

今年、第51回近畿医学検査学会が滋賀県で開催されます。先生には、学会の企画・運営はもとより、臨床検査技師会の更なる充実と発展のために、永年のご経験のもとで、高所・低所からご指導をいただけるものと信じておりましたのに、それもかなわなくなりました。

しかし、私達は、深い悲しみのうちにも先生の志を継ぎ、先生の理想を我が理想として、社団法人滋賀県臨床検査技師会を大きく育てるよう努力して参ります。

ここに、謹んで哀悼の誠を捧げ、併せまして、衷心よりご生前の業績に敬意を表し、ご生前のご指導、ご厚情に感謝を申し上げまして、お別れの言葉といたします。

どうぞ安らかに眠り下さい。

そして、最愛の奥様と、心置きなく語らして下さい。

先生 永い間ご苦労様でした。そして、ありがとうございました。

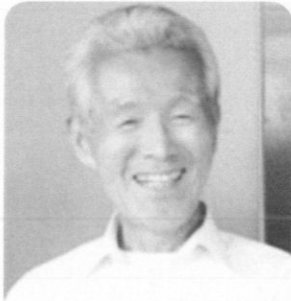
平成23年4月9日

社団法人 滋賀県臨床検査技師会

代表 多林久治

~~~~~

## 今は亡き板谷君へ



板谷氏は昭和37年に京大技師学校を卒業され、社会保険滋賀病院に臨床検査技師として奉職されました。当院ではまだ確立されていなかった病理細胞検査室を立ち上げ、近辺の病院にひけを取らない立派な病理部をつくられたことは思い出深いものがあります。

検査部技師長として若い技師の育成、診療部門と検査部の連携強化、検査部のコンピューター化の推進などに力を注がれました。

また、社団法人滋賀県臨床検査技師会の理事として近畿学会・滋賀学会の企画・運営にご尽力され、学会を成功裡に導かれたことは技師会の会員に大きな自信と誇りを植えつけたものであります。また、技師会の事業として臨床検査精度管理事業、生涯教育研修やその他の医療関連事業の力を発揮され、若い会員の模範的存在でもありました。

ほんとうにご苦労様でした。

私生活においては、彼はなかなかの食通で一緒に若狭方面に旅行した時も魚市場で生きの良い「サバ」を買い求め、自宅で三枚におろして二杯酢で食するとか、自宅の菜園にて無農薬野菜を収穫しているとか、いつも話を聞かされていましたが、僕は誠に残念ながら彼の素晴らしい腕前の料理を御馳走になる前に天国に旅立ったことは残念でもあり腹立ちでもあります？

達ちゃんすみません。

また、滋賀県男性合唱団（団員70余名）に所属し、「びわこホール」でその美声を披露してくれました。彼にこの様な素晴らしい趣味があるとは発表会の招待をされ初めて知りました。

社会保険滋賀病院の新築・建て替え時に地下室の様な部屋で病理部と細菌部が楽しく和気あいあいと仕事したことが懐かしく思い出されます。仕事の後で美酒を飲みかわしましたね。

告別式の日、出棺のとき合唱団の皆様の「びわ湖周航の歌」で最後のお別れをし、皆様からの「御苦労さま、板谷さん」の言葉が心に残っています。

ご冥福をお祈りいたします。

平成23年3月17日ご逝去（享年73歳）

社団法人滋賀県臨床検査技師会 元会長

社会保険滋賀病院 元技師長 永野英夫

## 平成23年6月定例理事会 議事録

日 時：平成23年6月2日（木）17:00～19:30

場 所：技師会 会議室

出席者：吉田、入野、竹島、新川、速水、大本、  
岡本、岩井、松村、一岡、山村、富田、  
中村、土肥、（監事：立脇）

欠席者：桐畑、松林、（監事：阪口）

司 会：新川 常務理事

場 所：草津市立まちづくりセンター

議 題

- ① 平成22年度事業報告
- ② 平成22年度決算報告
- ③ 平成22年度監査報告
- ④ 公益法人の移行について
- ⑤ 定款の改定について
- ⑥ 監事の選出について
- ⑦ その他

・東日本大震災義援金として日本臨床衛生検査技師会へ5万円納入することに関する承認について

・近畿臨床検査技師会（仮称）新規設立への加入と一人あたり年間300円の会費徴収に関する承認について

・近畿臨床検査技師会（仮称）での学術活動の承認と代表者3名（会長、事務局長、学術部長等）の近畿臨床検査技師会の会議への出席許可について

### 5) その他

・支部（地区）学会併設精度保障セミナー開催について

今年度の近畿医学検査学会では開催しない。

・第1回保健医療従事者研修会8/11開催予定 内容は「東日本大震災における災害支援の実際について（仮題）」である。

### 1. 会長挨拶

### 2. 報告事項

<日臨技>

#### 1) 日本臨床衛生検査技師会

平成23年度第1回定期総会（決算総会）

期 日：平成23年5月14日（土）14:00～

場 所：東京大森東急イン5階  
「フォレストルーム」

出席者：入野副会長

議 題

- ① 平成22年度事業報告
- ② 平成22年度決算報告
- ③ 平成22年度監査報告
- ④ 役員報酬等に関する諸規程
- ⑤ 定款の改正等

①～③は成立。

④は取り下げ。

⑤は全体の約77%の賛成で成立。

なお、保留した和歌山を除く近畿地区の臨床検査技師会の反対票が約2000票あり。

<滋賀県>

#### 1) 滋賀県臨床検査技師会 監査準備打ち合わせ会

期 日：平成23年5月10日（火）16時～

#### 2) 滋賀県臨床検査技師会 監査

期 日：平成23年5月10日（火）17時～

#### 3) 財団法人滋賀県健康づくり財団第93回理事会

期 日：平成23年5月20日（金）

場 所：大津市保健所 2階会議室

議 題：平成22年度事業報告（案）の承認を求めることについて

平成22年度収支決算（案）の承認を求めることについて

役員（評議員）の選任について

#### 4) 平成23年度第1回定期総会（決算総会）

期 日：平成23年5月27日（金）

### 3. 協議事項

#### 1) 公益法人化対応について

今後は精度管理事業や生涯教育事業等の公益性の高いと思われるものを中心に今まで以上に事業を押し進めていく。

#### 2) 近畿医学検査学会について

① 第51回近畿医学検査学会開催のご案内（公示2）の案が承認され、至急に近畿の関係各所に配布されることになった。

#### ② 公開講演会について

一般参加者に関して、次回実行委員会において、はがき等による事前受付を提案することになった。

#### ③ 第51回近畿医学検査学会一般演題座長候補推薦について

近畿地区所属の技師会から各分野に1名（血液と生理は2名）の推薦をお願いすることになった。

- 3) 滋賀医学検査学会について  
 学会長は第3地区大津赤十字病院の高木富砂子氏に決定。会場や日程は未定。
- 4) 滋賀県のみ会員の会員証発行について
- 5) 会員の入退会方法等の案内について  
 入退会方法の手順と申請用紙等はホームページや広報で通知予定。
- 6) 再入会会員の入会費の徴収の有無について  
 再入会金については、新規入会者も再入会者も共に500円徴収することになった。
- 7) 厚生部事業について  
 『鈴鹿水系キャニオニング』～天然のウォータースライダーに挑戦～  
 日 時：平成23年7月10日(日)  
 集合場所：東近江市紅葉尾町  
 『リバーベース滋賀』  
 内 容：主に沢下りやスイミング等。ガイド・サポート有りのツアー参加。
- 8) 新人研修会について  
 7月30日(土)15時から開催することが決定。  
 場所等、詳細については未定。
- 9) その他  
 ・平成23年度日臨技国民健康増進委託事業について  
 生涯部が本事業を担当することになった。
- ① 事業名・期間等
- i) がん予防啓発に関する事業
- ii) 青少年へのSTI予防啓発教育事業

- ② 委託金 一律30万円
- ・平成23年度 会議室予約パスワードの発行について  
 現在登録中の旧予約パスワードは全て削除し、改めて登録しなおすことになった。
  - ・滋賀県のみ会員の臨床検査技師責任賠償保険について  
 上記保険の加入の申込や手続き等すべてを今後は厚生部が担当することになった。

#### 4. 各部の連絡

- 学術部：論文を募集中。投稿をお願いする。
- 事業部：7月10日に精度管理の試料を配布し、7月11日に各施設に到着予定
- 会計部：公益法人にともなう会計ソフト変更およびデータ再登録等について阪口監事をはじめとする株MKC・MKC合同会計に業務の一部を委託
- 総務部：日本臨床衛生検査技師会 平成23年度第1回定期総会の委任状における議決権委託の空欄に「議長」ではなく「個人名」を書くことを依頼する旨を記載した通知文を県内の各施設代表者および個人会員に送付。

議事録署名人 竹島 通  
 入野 保

## 平成23年7月定例理事会 議事録

日 時：平成23年7月7日(木) 17:00～18:30  
 場 所：技師会 会議室  
 出席者：吉田、入野、新川、速水、大本、松林、岡本、岩井、松村、一岡、山村、富田、中村、土肥、桐畑、(監事：立脇、阪口)  
 欠席者：竹島  
 司 会：中村 理事

1. 会長挨拶
2. 報告事項

<日臨技>

<近臨技>

#### 1) 第1回近畿理事会

期 日：平成23年6月25日(土) 15時～  
 場 所：大臨技会議室  
 近畿理事会は8月6日に開催予定。

2) 近畿会長・事務局長・学術部長合同会議  
 期 日：平成23年6月25日(土) 17時～

<滋賀県>

1) 第51回近畿医学検査学会第8回実行委員会  
 期 日：平成23年6月9日(木) 18時30分～  
 場 所：近江八幡市立総合医療センター  
 よしぶえホール

2) 第2回3団体打ち合わせ会議  
 期 日：平成23年7月5日(火) 18時～  
 場 所：ピアザ淡海 特別会議室

3) その他  
 会員の親族、ご逝去に対し会長名で弔電

#### 3. 協議事項

1) 公益法人化対応について  
 今年度中に申請。平成24年度から公益法人

として活動をめざす。7/12に県の担当者に申請に必要な書類を提出予定。申請等の手続きは、電子申請申込。

① 第51回近畿医学検査学会について

第9回実行委員会を本理事会終了後の18:30から開催予定。

- ・公開講演のポスターについて  
ポスター原稿の例示およびそれに関する説明を行う。近畿臨床検査技師会の履修証明および会員証について
- ・会員証は各々の府県で独自に作成。
- ・履修証明に関して、エクセルやワード等で書類形式のフォーマットを作成し、必要に応じて、証明書を発行予定

2) 新人会員研修会について

開催日時：平成23年7月30日(土)

15時30分～受付

開催場所：草津市立サンサンホール

- ・研修内容
  1. 会長挨拶
  2. 新人会員の自己紹介
  3. 滋賀県臨床検査技師会の概要および活動に関する説明。今年度からpower pointを使ったスライドによる説明を行うこととした。
  4. 人権研修:県庁で借用した人権研修用のビデオ映像を用いて実施する
  5. 新人委員の感想、質問等

3) 平成23年度日臨技国民健康増進委託事業について

① がん予防啓発に関する事業  
子宮頸部がん予防に関することを題材にした事業をおこなうことになった。

② 青少年へのSTI予防啓発教育事業  
11月末にHIV予防啓発に関する教育事業を計画中。開催場所、講師、プログラムに関しては今のところ未定。

4) 滋賀県公衆衛生学会の実行委員の推薦について  
竹島副会長を推薦することに決定。

5) 第4回糖尿病市民講座の後援について  
協議の結果、全員一致で後援が了承された。

6) その他

① 読売新聞社主催「第40回医療功労賞」国内部門候補者推薦

② 平成23年度日本対がん協会賞、朝日がん大賞 候補者推薦

①、②とも該当者はなし

4. 各部の連絡

事業部：6月29日に精度管理委員会議を開催。

7月10日に精度管理コントロールサーベアーならびに試料等を発送し、各関係施設には7月11日に到着予定。

生涯部：平成24年3月下旬に検診データの読み方に関する講習会を開催予定。

渉外部：大津市から10月16日に開催予定の「大津健康まつり」への出展参加の要請があり。早急に第3地区の地区委員会を開催する予定。

厚生部：7月10日(日)『リバーベース滋賀』で開催予定『鈴鹿水系キャニオニング』の参加者は合計13名となった。

広報部：会報250号を8月中に発行予定。

会計部：日臨技より平成23年度「国民医療助成金」および「教育研修事業助成金」の送金通知があった。

総務部

1. 今後の会議および研修会の予定

1) 第51回近畿医学検査学会第9回実行委員会  
期 日：平成23年7月7日(木) 18時30分～  
場 所：技師会会議室

2) 第1回滋賀県がん診療連携協議会・研修調整部会  
日 時：平成23年7月19日(火) 18時～  
場 所：滋賀医科大学医学部附属病院3階 第1会議室

出席者：入野副会長

3) 平成23年度第1回保健医療従事者研修

日 時：平成23年8月11日(木) 13時30分～  
場 所：草津市立市民交流プラザ 大会議室内  
内 容：東日本大震災 知りたい!災害支援の実際  
～保健医療従事者として災害時にできること～

4) 滋賀県がん対策推進協議会

日 時：平成23年8月30日(火) 14時～  
場 所：大津合同庁舎7A会議室  
内 容：平成23年度がん対策について  
平成24年度がん対策に向けて

2. 施設の新規登録や変更について

来年度からは滋賀県独自の申請用紙を運用予定で、滋臨技ホームページからその新しい用紙をダウンロード可能にする予定。

議事録署名人 岩井 宗男  
新川 由基



命の重み・  
重なる技術・  
重なる想い



おほらい町



大玉埼灯台



六華苑



獅子岩



伊勢神宮

# 第61回 日本医学 検査学会

61st JAMT CONGRESS 2012 MIE

2012年6月9日(土)・10日(日)

三重県総合文化センター/メッセウイング・みえ

学 会 長: 小林 圭二 (遠山病院 三重県臨床検査技師会 会長)

実行委員長: 山本 幸治 (済生会松阪総合病院 三重県臨床検査技師会 副会長)

主 催: 社団法人 日本臨床衛生検査技師会 <http://www.jamt.or.jp/>

担 当: 社団法人 三重県臨床検査技師会 <http://sanringi.hs.plala.or.jp/>

東日本大震災 復興支援 がんばろう日本

学会事務局

事務局長: 森本 誠

(済生会松阪総合病院 医療技術部 検査課)

〒515-8557 三重県松阪市朝日町1区15番地6

TEL:0598-67-0012 FAX:0598-67-0057

E-mail:jimu@61jamt.jp

<http://www.61jamt.jp/>

Photo:奥山 理

## 第250号滋臨技だより

2011年8月31日

発行所: 滋賀県臨床検査技師会

編集者: 中村 勇治

山村 満

竹島 通

岩井 宗男

表紙写真提供: 今村 真治

印刷: 近江印刷株式会社

技師会では、皆様のご意見・ご要望をお待ちしております。

事務局 滋賀医科大学医学部附属病院

検査部内 TEL 077-548-2605

E-Mail [iwai@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:iwai@belle.shiga-med.ac.jp)

